



2019年10月21日

各位

会社名 大日本住友製薬株式会社

代表者名 代表取締役社長 野村 博  
(コード:4506 東証第1部)

問合せ先 執行役員  
コーポレートコミュニケーション担当 樋口 敦子  
(大阪:TEL. 06-6203-1407)  
(東京:TEL. 03-5159-3300)

## 2020年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2019年7月29日に公表した2020年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

### 記

#### 1. 2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年4月1日~2019年9月30日)

	売上収益	コア 営業利益	営業利益	四半期利益	親会社の所有者 に帰属する 四半期利益	基本的 1株当たり 四半期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	228,500	39,500	56,000	22,000	22,000	55.37
今回修正予想(B)	230,600	44,800	66,800	30,300	30,300	76.27
増減額(B-A)	2,100	5,300	10,800	8,300	8,300	—
増減率(%)	0.9	13.4	19.3	37.7	37.7	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	226,155	37,151	29,607	27,869	27,869	70.15

(注)コア営業利益は、営業利益から条件付対価公正価値の変動額、減損損失および事業構造改善費用等の非経常的な要因により発生した損益を控除して算出しています。

#### 2. 修正の理由

売上収益は、各セグメントとも堅調に推移しており、前回発表予想に対して21億円増の2,306億円となる見込みです。コア営業利益は、増収に伴う売上総利益の増加に加え、販売費及び一般管理費の進捗が想定を下回ったことから、前回発表予想を53億円上回る見込みです。

営業利益は、がん領域において、開発計画を含む事業計画の見直しを実施したことに伴い、同領域の事業に係る無形資産である仕掛研究開発の減損損失の計上を見込むものの、ポストン・バイオメディカル・インクおよびトレロ・ファーマシューティカルズ・インクの買収に係る条件付対価公正価値が大きく減少することにより、減損損失を上回る費用の戻入を見込むことから、前回発表予想に対して、108億円増の668億円に修正しました。

四半期利益および親会社の所有者に帰属する四半期利益は、為替差損の発生による金融費用の増加を見込むものの、営業利益の増加が大きく、前回発表予想に対して 83 億円増の 303 億円に修正しました。

なお、通期の業績予想につきましては、変更しておりません。

(注) 本プレスリリースに含まれる将来の予測等に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しています。したがって、業績・その他の将来の予測等に関する事項は、今後さまざまな要因によって本リリースの記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上